

社会资本整備総合交付金チェックシート

(広域連携事業)

計画の名称：富士山・南アルプス・ハケ岳対流圏における山梨長野
事業主体名：山梨県
広域周遊観光活性化計画(重点③)

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2) 上位計画等と整合性が確保されている。 ・国土形成計画(全国計画) ・国土形成計画(広域地方計画)、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ・社会资本整備重点計画 ・環境基本計画 ・その他() ※該当するものがあれば記載すること。	<input type="radio"/>
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	<input type="radio"/>
2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	<input type="radio"/>
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	<input type="radio"/>
2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	<input type="radio"/>
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	<input type="radio"/>